



ファイターズの応援に向かう

1976（昭和51）年の  
豊平区、清田地区など地下  
鉄東豊線建設促進期  
成会の結成以来、各  
駅の設置など地域の  
方々・行政担当機関  
等とコミュニティーションをはかりながら地  
下鉄延長実現の活動  
を続けてきました。  
ここ数年、札幌ドームも開業しサッカー・  
野球の魅力として、4万人を超えるファンを集めます。交通

地下鉄東豊線福住駅から  
の地下鉄延長敷設を地域住  
民の皆さんと共に住民の要  
望を束ねて、今まで積み重  
ねてまいりました活動をこ  
こで一層強める画期的な行  
動として促進期成会連合会  
青木会長（清田中央地区  
「町連」会長）以下10地区  
「町連」会長並びに清田区

II 清田区の育成・強化、札幌ドームへのアクセス＝  
1976（昭和51）年の 豊平区、清田地区など地下  
鉄東豊線建設促進期  
成会の結成以来、各

地区には、商・工業の目覚  
ましい発展が道央地帯の話  
題となっています。  
これら地域社会の維持・  
発展に欠かせないのが交通  
網の下支えです。複数地域  
を結ぶ交通網は、産業・經  
済上の相乗効果を生み出します。

特に積雪寒冷地である札幌市において、地下鉄は氣象条件に左右されることなく運行され、市民生活の利便性・快適性をより一層高め、さらには良好な環境保全の観点からも、将来に向けてその必要性が極めて高い都市施設であると存じます。  
豊平区では、「豊平区元気ビジョン＆プラン2005」、清田区におきましては地下鉄東豊線の延長促進を含む「清田区まちづくりビジョン2020」などのプランに基づき、私ども地域住民も共に考え、共に悩み、共に行動するまちづくりに取り組んでいるところであります。

## 上田札幌市長へ要望書

9月9日 地下鉄東豊線建設促進期成会連合会

副会長 大橋 良一  
(平岡地区町内会連合会 会長)

（清田中央地区町内会連合会 会長）

### 地下鉄東豊線の 清田方面への延長について

### II 清田区の育成・強化、札幌ドームへのアクセス＝

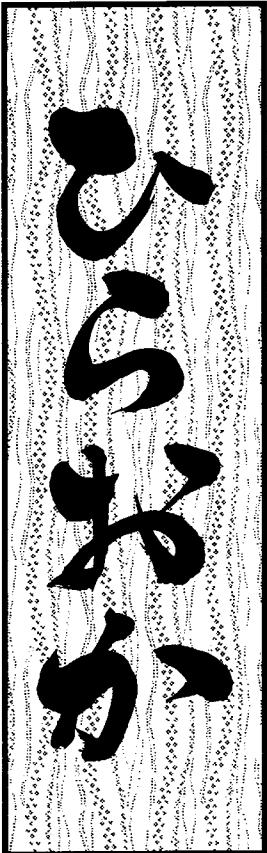
事情で考えますと「ドーム  
への直通ルートがほしい」  
という声は年々強くなつて  
きています。

さらに近年隣接する大曲

地下鉄東豊線清田方面への延長について（要望）

地下鉄東豊線建設促進期成会連合会  
会長 青木一夫  
(清田中央地区町内会連合会 会長)

貴職におかれましては、日頃から地域の市民生活や  
経済活動を支える交通手段の改善・整備に格別のご配  
慮とご尽力を賜り、心より厚くお礼を申し上げます。  
さて、改めて申すまでもなく、交通は都市の均衡あ  
る発展と成長の大きな原動力であり、大量公共交通機  
関を基本とした交通体系の確立を図ることは、極めて  
重要なことです。



平岡地区町内会連合会  
清田区平岡7条3丁目9-25  
平岡地区会館内  
☎ 883-7100  
発行責任者 大橋 良一  
編集責任者 渡辺綱太郎

## 要望書

選出市議会5議員が同席し、上田札幌市長に地域の願いの総意を「要望書」にまとめ、この9月9日に札幌市役所にて直接手渡しました。  
…以下要望書原文…

こうしたまちづくりに対する取り組みの一環として、昭和56年に豊平区と現在の清田区の町内会連合会によって地下鉄東豊線建設促進期成会連合会を結成し、以来、東豊線の豊平区及び清田区方面への路線延長、駅の位置等について協議し、貴職をはじめ関係方面に対して要望を行うなどの活動を続けてまいりました。

平成6年には、地域住民の念願がかなつて、豊水すきの～福住間の延長が実現し、特に豊平区の利便性が大きく向上するとともに、地域の産業、経済の発展に多大な役割を果たし、まちの活性化を促進する原動力になつております。

その後、平成9年に清田区が誕生し、平成13年には札幌ドームがオープンするといった新たな状況の変化に伴い、特に国道36号線は交通渋滞の深刻さを増すなど、問題は顕在化しており、当連合会としても地下鉄東豊線の清田区への早期延長を活動目標として、各種運動を継続的に展開してきたところです。

ご承知のように、平成13年4月27日に札幌市総合交通対策調査審議会が「清田区への地下鉄延長は、清田区の中心核の育成・強化に寄与することや、札幌ドームへのアクセス対応など、まちづくりの上からも必要性が高く、採算面においても成立性が高い」との答申を示しております。

また、「第4次札幌市長期総合計画」をはじめ、直近の交通現況の調査結果を踏まえて平成22年3月に策定された「道央都市圏の都市交通マスター・プラン」においても、清田方面への骨格公共交通の整備の必要性が示されております。

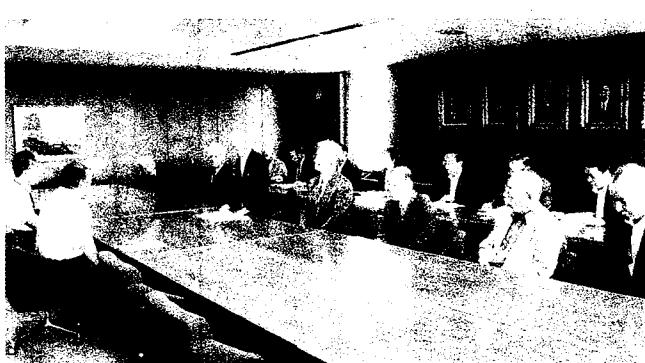
清田区は、区制施行から約12年が経過し、大きく変

貌しつつあります。マンションや大型商業施設の建築が目立ち、それに伴う人口の増加、地域経済の発展が見込まれていることから、清田方面への地下鉄延長を求める声はより一層高まっております。

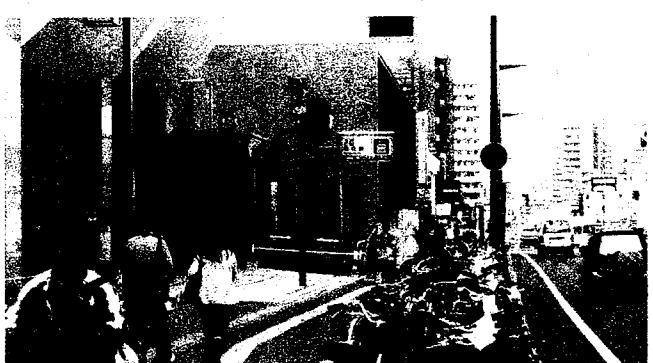
当期成会が昨年取り組んだ地下鉄福住駅前での街頭啓発活動や白旗山フェスティバルにおけるPR用ティッシュの配布活動において、札幌ドーム直結駅を早く作つてほしいといった声のほか、通勤時を代表とする冬期通勤の不便さを訴える声や、通学時間の負担軽減を望む地元清田区内の高校生などからも、一日も早い地下鉄延長を求める熱い声が多く寄せられました。

このように、軌道系大量輸送機関が敷設されていないのは、札幌10区のうち清田区ただ1区のみであり、清田区民は、この不便な状況をなんとか解消していただきたいと強く願っております。

当期成会は、この「清田区に地下鉄を」の多くの声を引き続き今後の活動に生かしていく所存です。また、活動強化の一環として当期成会の組織の更なる充実を図ることとし、先般、清田区選出の道議会議員及び札幌市議会議員全員に顧問就任をいただいたところです。札幌市の南東の玄関口とも言える発展著しい清田区の状況、その一方での地域住民の日々の生活の不便さ、さらには、市民と共に取り組んでいる環境首都・札幌の取り組みにおいて適正な自動車交通の確保に資する有効な先行投資となること等を十分ご賢察いただきまして、地下鉄東豊線を清田区へ早期に延長していただきよう、地域住民の総意として、ここに要望申し上げます。



9月9日 上田市長に要望書を手渡す期成会のメンバー 後列に5名の市議



福住駅

都市交通のマスター・プラン（パーソントリップ調査）  
2010年3月 道央都市圏総合都市  
交通体系調査協議会より

## 目指すべき、

# 望ましい交通体系と施策

広報部

大都市の市民が、どの年齢層も安心して暮らすには、幹線たる公共交通機関は重要な役割をもっています。

今や、何らかの文化的な活動をしたり健康管理のためを考えても交通機関による移動は欠かせません。

また、地域性を生かした産業・経済の発展は、人と物の流通なくては成り立ちません。

4万2千席を有する札幌ドーム、近郊の商・工業の著しい発展をなし大曲地域との交流など札幌がバラソスよく活気を呈していくには人の移動・物流を効率よく支える望ましい交通体系の実現こそ、火急の課題と考えます。

## ドームと直結の 地下鉄があれば……。

一年を通じて、ベースボ

ル・サッカー・その他の文化行事等によるドームの集

人能力は、その都度4200席以上をもつての営業

です。

いくのは いいけどさ  
乗り換えて歩いたりが



日ハムの看板を掲げる東豊線福住駅

## 札幌の南東 国道36号線を考える

国道36号線、札幌から南

東に清田を過ぎると北広島市大曲に入ります。片側3車線の羊ヶ丘道路の広い車道が走ります。

この2つの道路の両側に

小売店（大・小合わせ30店・製造業（28）運輸業（19）

（いずれも北広島商工会調べ）などの比較的新しい建物が立ち並び経済・産業の発展は近隣の話題になっています。

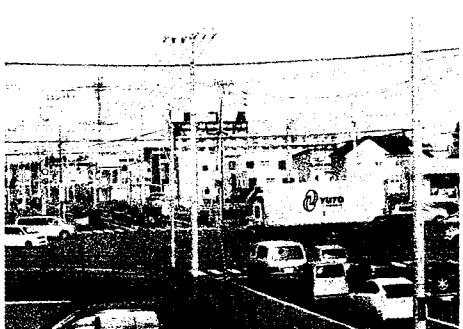
一方、国道36号線その交

通量でみてみると、平日の全車両の一日の通過台数は40245台、休日で3

ね……。  
なんて言う人の話もよく耳にします。

行事の拠点と居住地とを結ぶ公共交通機関の実現は、動員数においてもスポーツ・文化の愛好・普及の側面からみても相乗的効果を十分期待できるのではないでしょうが。

文化の愛好・普及の側面からみても相乗的効果を十分期待できるのではないでしょうが。



今話題の羊ヶ丘通り大曲新商・工業付近



R 36 北野1条1丁目朝のラッシュ時

設け、そこから地下鉄を利  
用する交通体系にすること  
により

1、マイカーに頼らない  
2、積・降雪の影響を緩和  
ができる

3、札幌市内の交通事情の  
事故性の削減

4、環境にやさしい街とし  
ての誇りを…

（道央都市圏パーソン  
トリップ調査報告参照）

以上の（1～4）を考え  
ますとこの地下鉄の延長要  
請は、国道36号沿線地域の  
願いであると同時に札幌市  
全域の問題でもあり、是非、  
大局的な立場で実現への方  
向が見定められることを願つ  
ております。

国道36号線は、その先に  
苦小牧の海運、新千歳の空  
輸など道央部の人・物の流

通を支える北海道経済のな  
くてはならない位置を占め  
ています。

この大動脈のいずれかの  
位置（願いは清田区の延長）  
に大きなモーターブールを



## 四つの町内会。

### 二十数年の歴史と伝統を 守り続ける合同開催の夏祭り…

ひと夏の思い出と地域の絆



平岡第一町内会  
会長 三浦宣昭



平岡4町内会合同、大人の仮装盆踊り



平岡4町内会、子供の仮装盆踊り



平岡4町内会、七夕・花火大会



平岡4町内会、大人の仮装盆踊り

昭和五十一年頃より原野と畑作の地であったこの平岡地区に、盛んに宅地造成の槌音が響き、昭和五十四年には住宅の建設が始まり、豊で住みよい街平岡に、新しい未来を夢見てこの地に移り住み、その後も住宅が増え続けて今日に至つている。

昭和五十五年、時を同じくして平岡第一自治会、平岡第二町内会、平岡第五町内会の三町内会が誕生した。当時、町内会活動の会合等は、いろいろな施設や会長宅を借りて行われていた状況で、またまた三町内会の運営での苦労話の中で、『共同

でみんなの会館を造ろうか』と同年十一月には会館建設準備委員会が発足となり、何度も市教育委員会にお願い

和五十六年には、地域の発展と親睦のため、平岡第一自治会の盆踊り、平岡第二町内会と、平岡第五町内会の合同盆踊りと二カ所で行われていたが、近隣三町内会で地域の融和と親睦のため平岡わかば会館竣工を機会に、『共同で何か事業をしよう』との提案があり、併せて三町内会の費用の節減と町内会活動の効率化を図る目的で、夏祭りの七夕祭りと子供花火大会及び盆踊り大会を三町内会合同で行うこととした。

その後、平成元年四月に

かば会館』が竣工し、町内会活動の拠点となっている。三町内会発足間もない昭

園で『盆踊り大会』（参加者・子供約三百五十名、大人二百五十名）がにぎわいのうちに行われた。盆踊りは、二日間で子供

進「情報交換」など、身近な問題を解決するため、平岡四町内会ブロック会長会後に改称して「つくし会」を設立して現在も年三回程度会議をしている。本年も四町内会のかたい絆により、この夏には平岡度会議をしている。

多くの人が楽しいひとときを過ごして、盛会のうちにめでたく終了しております。特に、仮装盆踊りは、子供の参加者が多く、今年は、十四組の参加で思い思いの

と大人、時間を分けて行い、二日目はあいにくの雨模様の中でしたが、子供も大人の仮装盆踊り大会を行い、多くの人で賑わいました。

このように合同で事業を行ふことで、近隣地域の親睦と、日本文化の一部を継承し、子供たちに素晴らしい思い出を残すことが、地域の未来を健康に発展させる一助になればと念じています。

## スクーチサークル紹介

平岡しんたく樂生会

代表 上野幸雄



平成十五年、サークルの師である中吉功氏が北海道美術協会会員の老人クラブ入会を機に『スケッチ画を描こう』を結成。

以来、七年経過しているが、結成時の理念である

上手に描こうと考えず

下手を恐れず

あのころの童心にかえつて

楽しく 少しづつ

優しさに美しさに触れる

多くの機会をつくろう

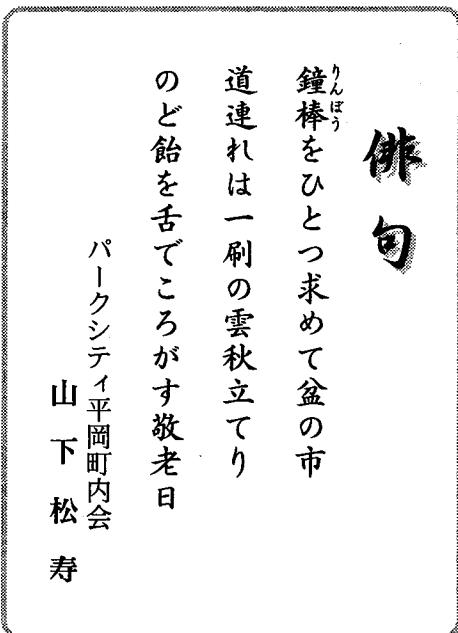
を会員の皆さんと共に大切にしながら今日に至っています。



画家 中吉 功氏  
北海道美術協会(道展)会員



鎌田 敦 作品



バーカンティ平岡町内会  
山下松寿

佛句

鐘棒（きんぼう）をひとつ求めて盆の市  
道連れは一刷の雲秋立  
りのど飴を舌でころがす敬老日



青山 恒子 作品



裏が、ゆきつ戻りつして  
いる合間に、秋は、人が寝  
静まり少し残された住宅の  
叢にひつそじやってきて  
いた。

(広報部)

よとがき

9月になつても、日中の  
ほとばらが身体や家にもこ  
もつていて、寝苦しい日が  
幾日かあつた。

そんな夜中に、ふと布団  
から立ち上がりカーテンを  
引き、何となく窓を開けて  
みる。冷ややかな夜の空氣  
が気持ちよく身体を通り抜  
ける。

街灯の明るさの向いの黒い叢から□□□□□…

と、虫の鳴く声がきこえる。

真夜中に一人聞く虫の声は、  
何年も、いやもっとおかし  
の馬車道で聞いた頃の夜が  
よみがえる。田舎上原ると  
高積雲の合間にから星が見え